

A man wearing a blue baseball cap with a logo, sunglasses, and a dark jacket is holding a large, dark-colored fish (likely a sea bream) with both hands. He is standing on a rocky shore with the ocean in the background. The text "立派な乗っ込み" is written in large orange and black characters at the top right, and "釣研ゼクトリ" is written in smaller black and orange characters on the right side.

A man wearing a black fishing cap with a logo, sunglasses, and a black jacket is holding a small yellow fish in his gloved hand. The background is a body of water under a cloudy sky.

今日、準備したマキエサは、約7時間分としてオキアミ生3kgを2角、アミエビのジャンボを1角、それに配合エサとしてマルキユウのグレパワーV9・V10・V11(NEW)を各1袋ずつ準備してこれを2回に分けて作ります。遠投がしやすいように、ていねいに仕上げます。

入れる量は人それぞれの好み
でいいですが、私は入れた方が
いいと思っています。今回NE
Wグレパワ－V11を使いまし
たが、小さなオキアミ型の配合
工サ(MSP)が以前のV11より
かなり多く入っているためオキ
アミ、アミエビ、そしてこの『
MSP』がより拡散してマキエサ
のすき間を埋めて効果的です。
実際にク口の胃袋の中にもよ
く入っているの、違和感なく
口を使っている印象です。今年
はこのV9・V10・V11(NEW)
の組み合わせで釣って行こうと
思っています。

さて、釣りスタートですが、
北寄りの風(釣り座の真横)が
強く吹いたり少し落ちついたり
と強弱のある感じなので、風が
弱くなるタイミングをうまく利
用しての釣りを心掛けます。仕
掛けは、図を参照してください。

竿 : グレ競技 SPIV 1.25 号 5.3m
 リール : トーナメント Z2500LBD
 道 糸 : サンラインブラックストリーム
 マーク X 1.75 号



recipe

Three bags of V brand instant noodles are shown side-by-side. From left to right, they are V10 (red and white packaging), V11 (blue and white packaging), and V9 (red and white packaging). Each bag features a large 'V' logo and the respective flavor number.

朝8時、釣りスタート。まずはマキエサを足元の見やすい所に打って潮の動き、エサ盗りの有無、いれば何なのかなどを確認します。エサ盗りは、黄色のシラコダイが多数。

ほかにはイスズミかオナガの子みたいな魚（今現在ではわからにくい）。この黄色のエサ盗りは、シラコダイやスズメダイなど、とてもやっかいです。実際この日も、なかなかかわせず苦労させられました。これをかわすのはやはり基本どおり、足元に間断なくマキエサを入れる。パラパラではなく音を立てるぐらい固まりを約3杯。

潮流によるウキの見え方変化

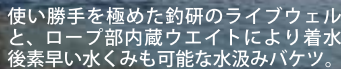
③ ② ①

味なのか、ウキの傾きが変です。（話は変わりますが私はほぼガン玉を使つた仕掛けを作りませんが、ウキのトップの朱色が①②③と約3通りに見

えますが、①は流れが止まっているか、上層・中層が同じ流れのときでよく見えます。②は流れが速く、ウキがかたむきウキの穴が見える感じです。③は、ウキがかたむいてナナメに見える感じで、上層と中層が逆もしくは下が止まっているかなど。これを確認する意味で道糸を張ってゆるめるの作業で、ウキの傾きを確認したりします。ガン玉やジャンタンを使った仕掛けは、潮当たりの抵抗が強いため、わかりやすいです。これがわかれば自然とマキエサの打つ位置が計算しやすいです。試してみてください。

さて本題に戻って ウキの流れで手前・やや沖・沖をマキエサを入れながら確認すると、ウキの角度が一番よかったのが沖側なので、そこを重点的に攻めるとオナガの子がポツポツとヒットしますが、潮が、案の定、逆の流れの左向きに。

潮変わりにはまだまだ早いタイミングですが、時間とともに速さが増してきてるようです。本流とまでは言わないですが、軽い仕掛けでは入れづらい流れです。足元からは、ゆっくり潮目の方に左沖に流れる引かれ潮。これに仕掛けを入れて潮目でヒットと思って流しても、途中



でシラコダイにやられます。うまくかわせても潮目の手前にもシラコダイ。こまりました。トホホです。

そこで考えたのが、遠投の距離をもう少し延ばして約25mぐらい。マキエサは、足元と仕掛け投入点の手前の潮目付近に入れ、速い流れに仕掛けを入れて流しながら潮目に入れるようにすると、オナガの子が少しずつ型がよくなります。それでも、口太グロは釣れません。

時間はお昼の12時を回り、潮止まりのタイミングが近づいています。沖の速い流れに変化はナシ。そこで、オナガの子の下を釣ろうとG5のジグタンを1個追加して、それまでの2個から3個打ってみると今日始めての口太グロ。型は35cmぐらいで



すが、ものすごくうれしい一匹。肩の荷が少しおりて、願わくば40cmオーバーと思っていますが、釣れてくるのはオナガの子や良型のイスズミ。それでも何とかと思い、仕掛けを遠投していると沖の速い流れが少しずつ遅くなり潮止まりが近いのを教えてくれます。すると、潮目が少しずつぼやけてきます。

そこで、仕掛けを流れに乗せて、潮目が手前に寄り出したところで仕掛けにゴミでも引つかかったみたいな、ジワッとウキがゆっくり入っていくアタリ。そのままアワさずに、ウキが見えなくなるまで待って、余っている道糸を巻き出すとクックと穂先にノックをしたので『魚だ!』と確信して、竿でためて糸を出さずにこらえていると、ク口特有の重みが伝わります。

◀お隣でもポツポツといった感じでした。

▼横瀬から、一本松の向こうに屋久島が見えました。やはり大きいですね！